



Third party verified  
Environmental Product Declaration  
Conformance with  
ISO14025 | ISO14040 | ISO14044



藤澤建機株式会社

藤澤建機株式会社

Fujisawa Kenki Co., Ltd.

## モザイクフロアシステム MF-3ZC

Mosaic Floor System MF-3ZC



※カーペット及び設備パネルは検証対象外です



支柱

フロアパネル MF-3ZC

### 登録番号

SuMPO-EPD-2512-27-1

### 検証合格日

2025/12/1

### 公開日

2025/12/17

### 検証有効期間

2030/11/30

### EPDタイプ

単一製品EPD

※更新された場合は初版公開日

### 追加の準拠規格

ISO21930:2007

EPDは検証期間であっても、更新または公開が中止となることがあります。

EPDの最新版および有効性を確認するには以下を確認してください。

<https://ecoleaf-label.jp/epd/search>

## ●基本情報

### >プログラム情報

プログラム名称	SuMPO環境ラベルプログラム
プログラムオペレーター	一般社団法人サステナブル経営推進機構
所在地	東京都千代田区内神田1-14-8 KANDA SQUARE GATE 4F
ウェブサイト	<a href="https://ecoleaf-label.jp">https://ecoleaf-label.jp</a>

### >GPI・PCR情報

GPI	SuMPO EPD Japan General Program Instructions v.2.1.1
PCR名称	二重床 第7版
PCR登録番号	PA-242159-AG-07
PCR認定日	2023/05/10
レビューパネル委員長（所属）	山岸 健（一般社団法人サステナブル経営推進機構）
PCR有効期限	2028/05/09
PCR発行者	一般社団法人サステナブル経営推進機構

### >検証情報

検証の種類	ISO14025及びISO21930:2007に従った第三者検証			
	<input type="checkbox"/> 内部	<input checked="" type="checkbox"/> 外部	<input type="checkbox"/> 検証員による	<input type="checkbox"/> 検証機関による
検証実施者（所属）	<input checked="" type="checkbox"/> 第三者検証	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 第三者検証	<input type="checkbox"/> EPDシステム認証 による第三者検証

### >準拠規格

準拠規格	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14040:2006	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14044:2006	<input type="checkbox"/> ISO14067:2018
	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14025:2006	<input checked="" type="checkbox"/> ISO21930:2007	<input type="checkbox"/> ISO21930:2017
	<input type="checkbox"/> EN15804+A2	<input type="checkbox"/> EN50693:2019	<input type="checkbox"/> ISO/IEC63366:2025

EPDに記載の情報及びEPDに記載の情報に関する環境主張についての責任はEPD取得事業者が持ちます。EPDの内容に関するご不明点、確認事項については、EPD取得事業者までお問い合わせください。

EPDの比較は、建設製品の機能を十分に考慮した上で実施されなければならないため、建設製品における建材のライフサイクル全体を考慮し、建設製品において同等の用途を想定したシナリオを適用している必要があります。EPDの比較の際に考慮すべき条件は本宣言が使用するPCRを参照してください。

EPDが宣言単位に基づいている場合、比較は機能単位あたりで行われなければなりません。

環境影響評価結果はあくまで相対的な数値です。数値の大きさにより環境への影響を一概に結論づけられるものではありません。また、算定した数値は環境への具体的な影響の大きさや安全性（閾値を超過しているか等）、リスク評価（環境や人間にどれだけの影響を及ぼすか等）を直接示すものではありません。

加重平均を用いた算定の場合、ライフサイクル影響評価結果及びライフサイクルインベントリ分析関連情報、廃棄物関連情報、出力フローに関する環境情報は、特定の製品についての情報ではありません。

## ●EPD取得事業者情報

事業者名・部署名	藤澤建機株式会社開発設計部
住所	三重県伊賀市下柘植697
問い合わせ先	0595-45-3280
LCA算定実施者（所属）	藤澤建機株式会社
事業者概要	OAフロアの製造・販売、金属プレス加工、板金・製缶加工、土木・建築用仮設機械、資材製造、販売及びリース、水耕栽培装置の企画・開発・販売、他

## ●製品情報

製品名称	モザイクフロアシステム			
製品の型式	MF-3ZC			
製品仕様	製品機能	高さ調整が可能な支持脚によりカーペット等の床を支持するパネルで構成し、配線等の収納が可		
	製品質量	18.27kg	換算係数	-
	製品の用途	主に事務所や店舗等の床に使用し、配線等を収納する床システム		
	技術性能	耐荷重性（3000N：フリーアクセスフロア工業会規格）、耐衝撃性、軽量性能等を備え		
耐用年数	年数	50年		
	使用条件	鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄筋コンクリート造の事務所用途 鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄筋コンクリート造の建物の耐用年数と同等とし、耐久年数や保証期間を指すものではない。出典：国税庁，“主な減価償却資産の耐用年数表”<2022年>		
	年数を設定した根拠			
製造サイト（製造拠点）	藤澤建機（株）本社工場、高槻ダイカスト（株）、丸富化学工業社			
製品概要	<p>【製品（パネル）寸法】 500mm×500mm×25mm          【製品重量】 パネル：4.3kg/枚          交点支柱：108.1g/本（最小値）～325.8g/本（最大値）          補助支柱：107.9g/本（最小値）～219.2g/本（最大値）  <b>【耐荷重】 3000N</b>          ※支持脚は、高さ（支柱部の長さ）のみが現場のニーズによって異なり（40mm～200mm）、支持脚の外径、原材料および製造工程は同一であることを条件とする。</p>			
製品ウェブサイト	<a href="http://www.mosaicfloor.fujisawa-kenki.co.jp/">http://www.mosaicfloor.fujisawa-kenki.co.jp/</a>			

## ●材料及び物質に関する構成要素

製品構成要素	割合 (%)	質量
鋼板	95.7	17.48 kg
アルミダイキャスト	4.0	0.73 kg
ポリプロピレン	0.2	0.03 kg
その他	0.2	0.03 kg
包装材構成要素	割合 (%)	質量
段ボール	72.4	0.14 kg
ポリプロピレン	27.6	0.06 kg

※ -

## ●生物由来炭素含有量

項目	含有量 (kg-C)	含有量 (kg-CO <sub>2</sub> eq)
製品あたりの生物由来炭素含有量	-	-
提供元にわたる包装資材の生物由来炭素含有量	-	-

※ -

## ●LCA関連情報

### > EPDタイプ情報

EPDタイプ	製品タイプ	<input type="checkbox"/> 単一製品	<input checked="" type="checkbox"/> グループ製品	<input type="checkbox"/> 業界製品
	サイトタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 特定サイト		
	開示方法	<input type="checkbox"/> 特定値	<input checked="" type="checkbox"/> 加重平均値	<input type="checkbox"/> 代表値
地理的範囲		日本国内		
複数製品/複数サイトを含むEPDにおける代表性の説明		PCR 6-8 支持脚の高さが異なる製品の取扱いに基づき、同一のパネルでも異なる高さの支持脚が使用されるケースがあるため、対象とする支持脚の年間生産本数による加重平均値を用いて算定している。		
複数製品/複数サイトを含むEPDにおける、算定結果の上下幅に関する説明		PCR 6-8 支持脚の高さが異なる製品の取扱いに基づき、同一のパネルでも異なる高さの支持脚が使用されるケースがあるため、対象とする支持脚の年間生産本数による加重平均値を用いて算定している。  対象とする支持脚は、高さのみが異なり、支持脚の外径、原材料および製造工程は同一である。  【各支持脚の高さ調整範囲】 40mm（最小値）～1000mm（最大値） 【検証対象製品】 40mm（最小値）～200mm（最大値）		
複数製品EPDの説明		-		

### > LCA関連情報

宣言単位	1 m <sup>2</sup>			
宣言単位当たりの質量 (質量への換算係数)	18.27kg			
基準フロー（機能単位を満たすために必要な製品数）	-			
システム境界	<input type="checkbox"/>	Cradle-to Gate	<input checked="" type="checkbox"/> Cradle-to-Gate with options	<input type="checkbox"/> Cradle-to-Grave
LCAソフトウェア	クラウド版MiLCaver.1.2.1			
LCIデータベース	IDEA 3.4			
特性化モデル	気候変動：IPCC 2013 GWP 100a、その他の影響領域：LIME2			
その他のバックグラウンドデータ	-			
二次データ品質	GPIに規定の二次データ品質を満たしたデータを用いて算定を行った。なお、データ品質評価はISO 14044：2006（環境マネジメント—ライフサイクルアセスメント—要求事項及び指針）の4.2.3.6に従って行った。			
一次データ収集拠点	藤澤建機（株）、高槻ダイカスト（株）、萩原鋼業（株）、アサヒサイレン（株）、ダイイチ化建（株）、丸富化学工業社			
一次データ収集期間	2024年4月～2025年3月			
生物由来炭素の取り扱い	<input checked="" type="checkbox"/> 0/0アプローチ	<input type="checkbox"/> -1/+1アプローチ		
電力契約に関する情報	使用有無	<input checked="" type="checkbox"/> 国や地域の平均的な電力ミックス	<input type="checkbox"/> その他	
	種類			
	購入日			
	発行元			

### > 算定対象段階

境界外 D	資材製造段階			施工段階		使用段階						解体段階			
						資材関連			光熱水関連			C1		C2	
A1	A2	A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4
原 材 料 の 調 達	工 場 へ の 輸 送	製 造 へ の 輸 送	現 場 へ の 輸 送	施 工	使 用	維 持 保 全	修 繕	更 新	改 修	エ ネ ル ギ ー 消 費	水 使 用	解 体 ・ 撤 去	廢 棄 物 の 輸 送	中 間 処 理	廢 棄 物 の 処 理
■	■	■	■	-	-	-	-	-	-	-	-	-	■	■	■

■ : 算定対象 - : 算定対象外

## &gt;アロケーション

本算定では、GPIに記載の手順でプロセスの細分化およびアロケーションを検討した。プロセスの細分化によるアロケーション回避が困難であるためエネルギー量データを同工場で生産される製品の生産数による物理量で配分を行った。

## &gt;カットオフ

PCR5-2 に記載のプロセスはカットオフを実施し、それ以外はカットオフは実施していない。

## &gt;システム境界

PCRに基づき設定を行った。時間的システム境界は100年である。

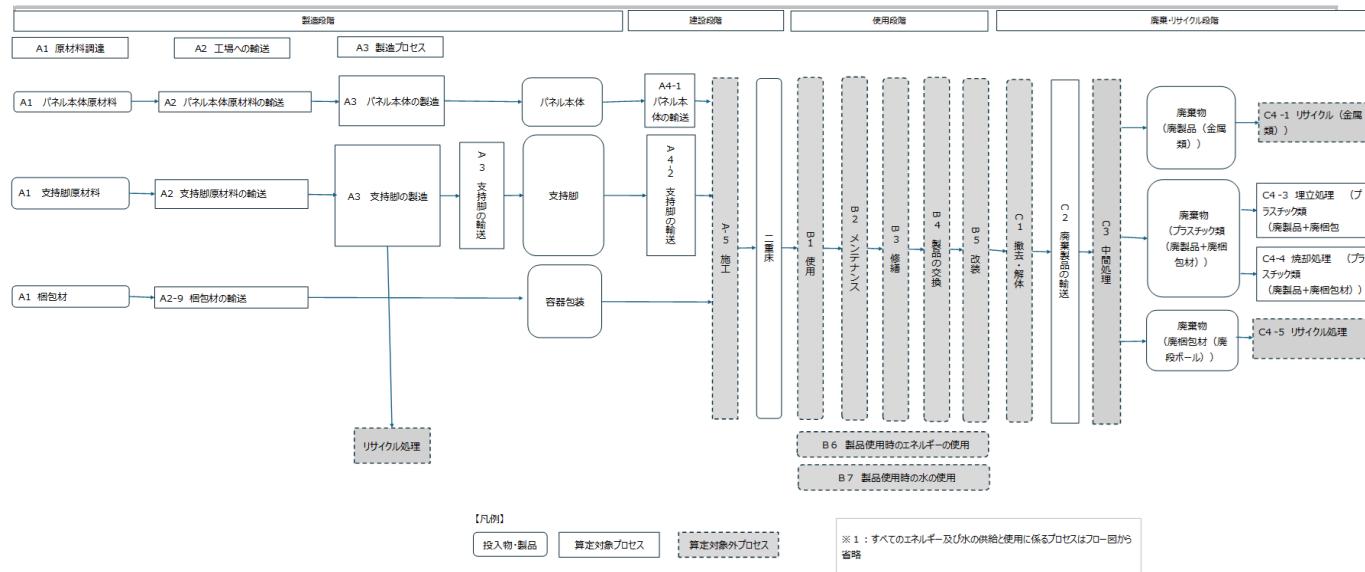
## &gt;シナリオ

モジュール	説明
A3	製造時に排出する廃棄物の輸送においてシナリオ（距離）と車格についてシナリオを使用した
A4	製品の輸送において輸送シナリオを使用した
C	廃棄物の処理割合、処理方法についてPCRに基づくシナリオを使用した

## &gt;電力モデリング

対象とする全てのライフサイクル段階において、2021年度における日本平均の系統電力のデータを用いて算定を行った。

## &gt;ライフサイクルフロー図



## ●算定結果

### > ライフサイクル影響評価結果

		資材製造段階				施工段階		使用段階							解体段階				境界外
								資材関連				光热水関連							
		A1	A2	A3	A1-A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
気候変動 - 合計	kg-CO <sub>2</sub> eq	5.93E+01	4.96E-01	3.98E+00	6.38E+01	1.78E+00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.72E-02	-	5.59E-02	-
気候変動 - 化石由来	kg-CO <sub>2</sub> eq	5.93E+01	4.95E-01	3.97E+00	6.37E+01	1.78E+00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.72E-02	-	5.59E-02	-
気候変動 - 生物由来	kg-CO <sub>2</sub> eq	2.66E-02	1.67E-04	1.91E-04	2.70E-02	3.43E-04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.26E-06	-	2.35E-07	-
気候変動 - 土地利用及び改変	kg-CO <sub>2</sub> eq	3.49E-02	2.23E-04	4.03E-03	3.91E-02	1.85E-03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.57E-05	-	3.85E-06	-
オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	2.92E-06	2.59E-08	1.73E-06	4.67E-06	7.92E-11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.52E-13	-	1.54E-10	-
富栄養化	kg-SO <sub>2</sub> eq	2.07E-04	3.97E-07	4.41E-07	2.08E-04	8.43E-09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.62E-10	-	2.02E-09	-
酸性化	kg-PO <sub>4</sub> <sup>3-</sup> eq	7.97E-02	2.97E-04	3.29E-03	8.33E-02	2.54E-03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.41E-05	-	3.73E-05	-
光化学オキシダント生成	kg-C <sub>2</sub> H <sub>4</sub> eq	3.35E-04	3.74E-06	5.03E-05	3.89E-04	1.70E-05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.98E-07	-	3.94E-08	-

### > ライフサイクルインベントリ分析関連情報—一次資源の使用に関する指標

		資材製造段階				施工段階		使用段階							解体段階				境界外
								資材関連				光热水関連							
		A1	A2	A3	A1-A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
再生可能一次資源 - エネルギー (RPR <sub>E</sub> )	MJ	1.27E+02	4.94E-01	2.81E+01	1.56E+02	1.03E-02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.18E-04	-	2.22E-02	-
再生可能一次資源 - エネルギー含有材料 (RPR <sub>M</sub> )	MJ	4.57E-01	6.37E-04	7.45E-04	4.59E-01	1.68E-05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.40E-07	-	5.36E-06	-
非再生可能一次資源 - エネルギー (NRPR <sub>E</sub> )	MJ	9.43E+02	7.21E+00	1.02E+02	1.05E+03	1.95E+01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.06E-01	-	7.95E-02	-
非再生可能一次資源 - エネルギー含有材料 (NRPR <sub>M</sub> )	MJ	5.15E+00	6.90E-03	4.25E-02	5.20E+00	6.56E-05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.83E-07	-	1.38E-04	-

### > ライフサイクルインベントリ分析関連情報—二次資源の使用に関する指標

		資材製造段階				施工段階		使用段階							解体段階				境界外
								資材関連				光热水関連							
		A1	A2	A3	A1-A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
二次材料	kg	2.97E+00	2.53E-02	3.68E-03	2.99E+00	7.26E-06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.38E-07	-	3.45E-06	-
再生可能二次燃料	MJ	1.16E-01	2.53E-04	3.90E-04	1.16E-01	4.78E-06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.37E-08	-	2.45E-05	-
非再生可能二次燃料	MJ	6.48E-01	5.37E-03	8.74E-04	6.54E-01	2.95E-05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.16E-07	-	2.07E-04	-
回収エネルギー	MJ	2.85E-01	2.35E-03	1.47E-01	4.34E-01	4.97E-05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.30E-07	-	1.16E-04	-

#### >ライフサイクルインベントリ分析関連情報—非生物資源-化石燃料、淡水の消費量

		資材製造段階				施工段階		使用段階							解体段階				境界外
								資材関連					光熱水関連						
		A1	A2	A3	A1-A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	
淡水の消費	m³	2.40E-01	1.71E-03	1.30E-03	2.43E-01	5.04E-05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.04E-06	-	4.55E-06	-

> 廃棄物関連情報

		資材製造段階			施工段階		使用段階							解体段階				境界外	
							資材関連					光熱水関連							
		A1	A2	A3	A1-A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D
有害廃棄物	kg	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無害廃棄物	kg	1.57E+00	2.64E-03	9.73E-03	1.58E+00	1.60E-03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.07E-05	-	1.32E-02	

#### >出力フローに関する環境情報

## &gt; LCA算定結果に関する説明

- ・輸送シナリオの概要：A3、A4及びCの段階においては一部PCRシナリオに従って算定しています。
- ・EPDは、状況が変化した場合、更新又は公開が中止されることがあります。EPDの最新版、及び有効性を確認するには、以下を確認してください。<https://ecoleaf-label.jp/epd/>

**●追加環境情報**

## &gt; LCAに関連しない追加環境情報

-

## &gt; 有害物質に関する情報

有害物質名	CAS No.	適用される基準または規制の参照
-	-	-

## 建材および建設製品からの危険物質の放出

-

**●用語の定義**

-

**●参考文献**

- ・ISO14025:2006 Environmental labels and declarations — Type III environmental declarations — Principles and procedures
- ・ISO14040:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Principles and framework
- ・ISO14044:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Requirements and guidelines
- ・ISO21930:2007 Sustainability in buildings and civil engineering works — Core rules for environmental product declarations of construction products and services